

市内中小企業の景況について

第 128 回京都市中小企業経営動向実態調査【結果概要】

～今期企業景気 DI は 8.6 ポイント低下，来期見通しは 2.7 ポイント上昇～

市内中小企業の経営実態，経営動向などを把握するため，四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」及び「付帯調査（外国人雇用の状況について）」の結果がまとまりましたので，御報告します。

<市内中小企業の景況について（別紙 1 参照）>

○今期（平成 30 年 7 月～9 月期）実績

- ・ 今期の企業景気 DI は，猛暑や豪雨・台風といった自然災害の影響もあり，その他の製造を除く，すべての業種で低下し，全産業で 8.6 ポイント低下（45.6→37.0）となり，東日本大震災の影響を受けた平成 23 年 4 月～6 月期以来の大幅な低下となった。
- ・ 製造業で 5.5 ポイント低下（47.3→41.8），非製造業で 11.3 ポイント低下（43.8→32.5）。

※調査は，前年同期比での「上昇・増加や下降・減少」を問うもの

・ 製造業（上昇：その他の製造 / 低下：西陣，染色，印刷，窯業，化学，金属，機械）

【主な低下理由】・「自然災害に伴う観光客の減少」（上京区／印刷）

・「受注減少」（中京区／染色）

・ 非製造業（低下：卸売，小売，情報通信，飲食・宿泊，サービス，建設）

【主な低下理由】・「売上不振」（右京区／小売）

・「豪雨，関空閉鎖によるインバウンド売上減」（中京区／飲食・宿泊）

・ 観光関連は，15.7 ポイント低下。

○来期（平成 30 年 10 月～12 月期）見通し

- ・ 来期の企業景気 DI は，飲食・宿泊，情報通信，印刷など非製造業を中心に多くの業種で上昇を見込み，全産業で 2.7 ポイント上昇（37.0→39.7）。
- ・ 製造業で 0.7 ポイント低下（41.8→41.1），非製造業で 5.9 ポイント上昇（32.5→38.4）の見込み。

・ 製造業（上昇：印刷，窯業，機械，その他の製造 / 低下：西陣，染色，化学，金属）

【主な上昇理由】・「固有の技術関連の受注が増加」（左京区／窯業）

・「海外方面からの受注増」（南区／機械）

【主な低下理由】・「受注量が減ってきている」（山科区／金属）

・ 非製造業（上昇：卸売，小売，情報通信，飲食・宿泊，サービス / 低下：建設）

【主な上昇理由】・「WEB 販売が好調」（伏見区／小売）

【主な低下理由】・「競争激化」（右京区／建設）

・ 観光関連は，18.0 ポイント上昇の見込み。

(参考) 1 調査対象企業数 800 社。うち 482 社が回答（回答率 60.3%）

2

$$\left[\text{企業景気DI} = \frac{(\text{上昇, 増加と回答した企業割合}) - (\text{低下, 減少と回答した企業割合})}{2} + 50 \right]$$

<経営上の不安要素>

- ・ 経営上の不安要素は、上位から「人材育成」が47.3%、「売上不振」が38.0%、「競争激化」が34.1%、「人手不足」が30.7%、「人件費増加」が24.8%と続いている。
- ・ 前期との比較では、「値下要請」が1.6ポイント増と最も増加し、続いて「競争激化」が1.2ポイント増となっている。
- ・ 「人手不足」が4期連続で30%を超えている。
- ・ 業種別にみると、「人材育成」を挙げる業種は、化学、金属、機械、その他の製造、情報通信、飲食・宿泊、サービス、建設（※）の8業種、「売上不振」を挙げる業種は、西陣、染色、印刷、卸売、小売の5業種。

※ 他に「人手不足」が同数。

<付帯調査：外国人雇用の状況について（別紙2参照）>

A 外国人の雇用状況について

～「雇用しておらず、検討もしていない」が75.9%で最多～

- ・ 「雇用している」、「雇用していないが前向きに検討中」と回答した企業は全体の24.1%だが、業種別に見ると「飲食・宿泊」が54.5%と最も高く、「情報通信」が42.1%と続いている。

B 雇用されている外国人について（複数回答可）

～雇用形態は、「正社員」が最多、国籍は、「中国」が最多～

- ・ 雇用形態は、「正社員」が58.5%で最も高く、「パート・アルバイト」が34.0%、「技能実習生」が17.0%と続いている。
- ・ 国籍は、「中国」が46.2%で最も高く、「その他」が26.9%、「韓国」が23.1%と続いている。
- ・ 在留資格は、「永住者・定住者」が46.9%で最も高く、「留学生(アルバイト)」が26.5%、「専門的・技術的分野」が24.5%と続いている。

C 外国人を雇用している（または検討中の）理由、外国人に担当させている（または担当させることを検討中の）業務について（複数回答可）

～外国人の雇用理由は、国籍よりも能力・人物重視が最多～

- ・ 外国人を雇用している（または検討中の）理由は、「国籍にこだわらず、能力・人物が優れているから」が47.4%で最も高く、続いて「日本人だけでは人手が足りないから」が38.1%、「外国人ならではの能力や経験が必要だから」が30.9%と続いている。
- ・ 外国人に担当させている（または担当させることを検討中の）業務は、「技能系業務」が46.9%で最も高く、続いて「その他」が28.1%、「輸出入や外国企業、現地法人に関する業務」が21.9%と続いている。

D 外国人を雇用しておらず検討もしていない理由について（複数回答可）

～外国人を雇用していない理由は、「日本人だけで人手が足りているから」が最多～

- ・ 「日本人だけで人手が足りているから」が53.3%で最も高く、続いて「業務のフォロー、教育が難しそうだから」が33.9%、「言葉、文化、生活習慣等の違いによる不安があるから」が33.2%と続いている。

E 外国人の新規雇用、あるいは雇用の継続に当たり望む支援について（複数回答可）

～外国人の新規雇用に当たり望む支援は「特にない」が最多～

- ・ 「特にない」が40.0%で最も高く、「日本語教育のサポート」が27.5%、「行政手続等のフォロー」が24.8%と続いている。